

◆磐梯山・猪苗代湖周辺地区

項 目		景 観 形 成 基 準																							
建 築 物	位 置	・緑化を図ることが可能な空地を確保し、かつ眺望の妨げにならないよう、道路境界線からできる限り後退すること。 ・磐梯山への眺望及び周辺の樹林の保存を考慮した位置とすること。																							
	規 模	・幹線道路沿道においては、道路からの眺望の妨げにならない規模とすること。																							
	形 態	・幹線道路沿道においては、道路からの眺望の妨げにならない形態とすること。 ・周辺の建築物の多くが類似した屋根の形状をもった地域にあつては、原則として屋根の形状を調和させること。																							
	意 匠	・周辺の自然景観との調和に配慮するとともに、観光地にふさわしい質の高い意匠とすること。																							
	色 彩		・周辺の町並みや自然景観と調和した茶系、黒系等の低彩度の落ち着いた色彩を基調とすること。なお、基調色は次の色彩を標準とし、準基調色は次の色彩を参考にすること。 ※基調色とは、大面積を占め、配色する際のベースとなる色です。準基調色とは、基調色より小さい面積に使え、配色効果を高める色です。																						
			○基調色																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>色 相</th> <th>明 度</th> <th>彩 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外壁色</td> <td>5YR ~ 7.5YR</td> <td>4.5 ~ 6</td> <td>0.5 ~ 2</td> </tr> <tr> <td>7.5YR ~ 10YR</td> <td>7 ~ 7.5</td> <td>0.5 ~ 2</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align:center">N9 ~ N9.3 (しゅくいのみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根色</td> <td>10R ~ 2.5YR</td> <td>2 ~ 4</td> <td>2 ~ 4</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">N3 ~ N4</td> </tr> </tbody> </table>		色 相	明 度	彩 度	外壁色	5YR ~ 7.5YR	4.5 ~ 6	0.5 ~ 2	7.5YR ~ 10YR	7 ~ 7.5	0.5 ~ 2	N9 ~ N9.3 (しゅくいのみ)				屋根色	10R ~ 2.5YR	2 ~ 4	2 ~ 4	N3 ~ N4		
			色 相	明 度	彩 度																				
	外壁色	5YR ~ 7.5YR	4.5 ~ 6	0.5 ~ 2																					
		7.5YR ~ 10YR	7 ~ 7.5	0.5 ~ 2																					
N9 ~ N9.3 (しゅくいのみ)																									
屋根色	10R ~ 2.5YR	2 ~ 4	2 ~ 4																						
	N3 ~ N4																								
	○準基調色																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>色 相</th> <th>明 度</th> <th>彩 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外壁色</td> <td>2.5YR ~ 5YR</td> <td>5 ~ 7</td> <td>0.5 ~ 4</td> </tr> <tr> <td>7.5YR ~ 1Y</td> <td>7 ~ 7.5</td> <td>0.5 ~ 2</td> </tr> <tr> <td>屋根色</td> <td>10R ~ 2.5YR</td> <td>2 ~ 4</td> <td>4 ~ 5</td> </tr> </tbody> </table>		色 相	明 度	彩 度	外壁色	2.5YR ~ 5YR	5 ~ 7	0.5 ~ 4	7.5YR ~ 1Y	7 ~ 7.5	0.5 ~ 2	屋根色	10R ~ 2.5YR	2 ~ 4	4 ~ 5									
	色 相	明 度	彩 度																						
外壁色	2.5YR ~ 5YR	5 ~ 7	0.5 ~ 4																						
	7.5YR ~ 1Y	7 ~ 7.5	0.5 ~ 2																						
屋根色	10R ~ 2.5YR	2 ~ 4	4 ~ 5																						
	※マンセル表色系(JISZ8721)																								
	・外壁、屋根等に使用する色数を少なくすること。 ・周辺の自然景観との調和に配慮するとともに、観光地にふさわしい落ち着いた色彩とすること。																								
工 作 物	位 置	・緑化を図ることが可能な空地を確保し、かつ眺望の妨げにならないよう、道路境界線からできる限り後退すること。 ・磐梯山への眺望及び周辺の樹林の保存を考慮した位置とすること。																							
	規 模	・幹線道路沿道においては、道路からの眺望の妨げにならない規模とすること。																							
	形 態	・幹線道路沿道においては、道路からの眺望の妨げにならない形態とすること。																							
	意 匠	・周辺の自然景観との調和に配慮するとともに、観光地にふさわしい質の高い意匠とすること。																							
	色 彩		・周辺の町並みや自然景観と調和した茶系、黒系等の低彩度の落ち着いた色彩を基調とすること。なお、基調色は次の色彩を参考にすること。 ※基調色とは、大面積を占め、配色する際のベースとなる色です。																						
			○基調色																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>色 相</th> <th>明 度</th> <th>彩 度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5YR ~ 2.5Y</td> <td>6 ~ 7.5</td> <td>0.5 ~ 2</td> </tr> <tr> <td>5YR ~ 10YR</td> <td>4 ~ 6</td> <td>0.5 ~ 4</td> </tr> </tbody> </table>	色 相	明 度	彩 度	5YR ~ 2.5Y	6 ~ 7.5	0.5 ~ 2	5YR ~ 10YR	4 ~ 6	0.5 ~ 4													
		色 相	明 度	彩 度																					
	5YR ~ 2.5Y	6 ~ 7.5	0.5 ~ 2																						
	5YR ~ 10YR	4 ~ 6	0.5 ~ 4																						
	※マンセル表色系(JISZ8721)																								
	・屋外広告物に使用する色彩については、彩度8以下とすること。 ・工作物の表面に使用する色数を少なくすること。 ・周辺の自然景観との調和に配慮するとともに、観光地にふさわしい落ち着いた色彩とすること。																								
緑 化		・樹林の保全を図ること。																							



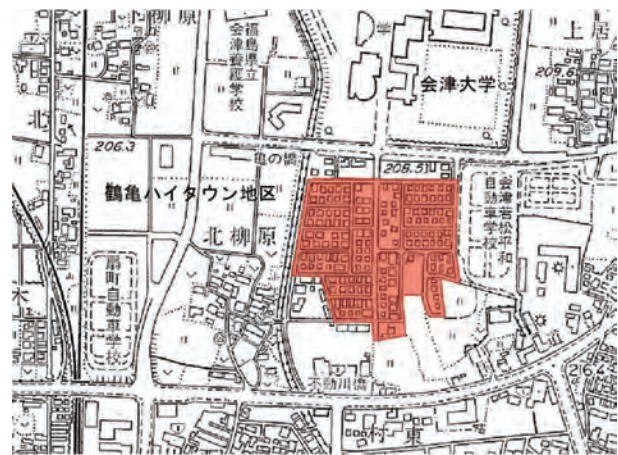
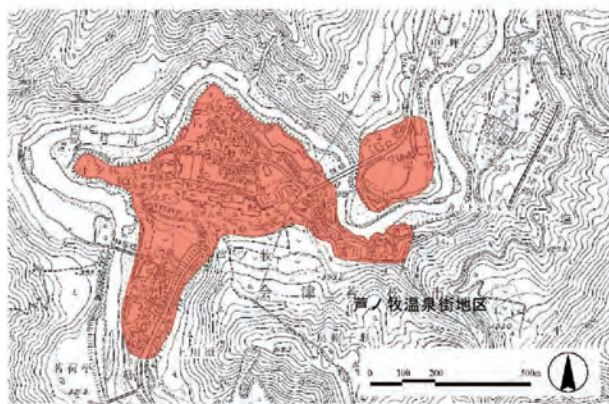
◆東山温泉街地区

項 目		景 観 形 成 基 準
建 築 物	位 置	・通りに面する建築物等の位置は、坂道が多い湯川沿いの温泉街風情を活かした、周囲の傾斜や連続性に配慮したものとする。また、川の流れや山水の眺めを妨げることなく、できるかぎり通りから眺められるよう配慮すること。
	高 さ	・建築物の高さは、周辺の景観に配慮した高さとする。
	形 態	・周辺の自然景観との融和に心がけ、歴史的な雰囲気の中にも賑わいが感じられるものとする。
	意 匠	・建築物等のデザインは、自然景観との調和を図り、時代的なイメージを演出する意匠とする。
	色 彩	・屋根、外壁の色彩は、自然環境を損なわないよう、原色やけばけばしい色を避けること。 ・アクセントとなる色彩は、賑わいを演出しつつも、古風な色彩にとどめること。
	素 材	・使用する材料は、自然素材や落ち着いた材料を使用すること。
	付 属 物 等	・門及び塀等は、町並み全体と調和したデザイン・素材・色彩とすること。 ・室外機等については、通りから見えにくい位置に設置するか、目隠しをするように努めること。
工 作 物	色 彩	・高明度、高彩度を避け、町並み全体の調和を図ること。
	自 動 販 売 機	・自動販売機については、通りから見えにくい位置に設置するか、目隠しをするように努めること。
緑 化		・通りに面する空地等については、極力植樹、植栽等による緑化を検討すること。 ・シンボルとなる樹木や山林の保全管理を行うこと。



◆芦ノ牧温泉街地区

項 目		景 観 形 成 基 準			
建 築 物	高 さ	・建築物の高さは、周辺の景観に配慮した高さとする。			
	形 態	・周辺の自然景観の保持と調和を図った形態の整備に努めること。			
	意 匠	・周辺の自然環境、更には、周辺の建築物等との調和を考慮したものとする。			
	色 彩	・屋根、外壁、開口部の色彩は、自然環境を損なわないよう高彩度を避け、次の色彩を標準とすること。 屋根-茶系及び黒を基調とする 外壁-白系及びグレー系を基調とする。 開口部-反射性の高い材質を避け、低い輝度とし、茶系及び黒を基調とする。			
			色相	明度	彩度
		茶 系	2.5R～5R	5～7	3～5
			7.5R～10R	2.5～4	2～5
			2YR～2.5YR	3～3.5	4
			5YR～10YR	2.5～4.5	2～5
		黒	N	1～2	
5PB			2	1	
白 系		N	9.5		
		N	3～6.5		
グレー系	5YR	6	1		
	2.5Y	6.5	0.5		
	7.5B	7.5	0.5		
	2.5PB	5	1		
※マンセル表色系(JISZ8721)					
素 材	・地区内の調和を考慮し、出来る限り質感の同じものを使用すること。				
付 属 物 等	・門及び塀は、建築物等と調和したデザイン、色調、素材とすること。				
工 作 物	色 彩	・高明度、高彩度を避け、町並み全体の調和を図ること。			
	自動販売機	・自動販売機については、通りから見えにくい位置に設置するか、目隠しをするように努めること。			
緑 化	・敷地内、近隣との調和を図り、積極的に緑化を行うこと。 ・樹木、山林の保全管理を行うこと。				



◆鶴亀ハイタウン地区

項 目		景 観 形 成 基 準		
建 築 物	形 態	・周辺の景観に調和した形態とすること。		
	意 匠	・地区内の他の建築物との調和を考慮したデザインとすること。		
	色 彩	・屋根・外壁・開口部等の色彩は次のとおりとすること。 屋根-高明度・高彩度をさける。 外壁-高明度・高彩度をさげ、茶系・グレー系を基調とする。 開口部-高明度・高彩度をさげ、茶系・黒系を基調とする。		
	素 材	・地区内の調和を考慮し、できるかぎり質感の同じものを使用すること。		
	付 属 物 等	・門及び塀等は、町並み全体と調和したデザイン・素材・色彩とすること。 ・室外機等については、通りから見えにくい位置に設置するか、目隠しをするように努めること。		
工 作 物	色 彩	・高明度、高彩度を避け、町並み全体の調和を図ること。		
	自動販売機	・自動販売機については、通りから見えにくい位置に設置するか、目隠しをするように努めること。		
緑 化	・近隣との調和を図り、積極的に緑化を行うこと。 ・各敷地に一本はシンボルツリーを植樹すること。			

